北信ローカル　2月19日号掲載

自然を楽しむ ㊹

「重ね着」

北村　豊
（小布施町栗ヶ丘）

　人生も四季に例えられることもありますが、自然界の植物は移動することも出来ず、今の冬の厳寒期も自然環境と対峙して春を待っています。

　写真は雄株のネコヤナギの冬芽で、寒さに耐えるため、１枚のカプセル状の“芽鱗”というものでスッポリと帽子のように芽を守っています。

　冬芽は写真中央の様に、芽鱗と白いコートの重ね着で大事に守られているのですね。早春の千曲川畔で、もう直ぐ白い花穂が見られるのが楽しみです。